

鱗 河

阿賀には、懐かしい風景と
新しいロマンがある

発行 阿賀野川漁業協同組合／事務所 阿賀町石間3881-4 ☎0254-99-1031 FAX1035

第7号
<http://www.aganogawa.jp/>
E-mail info@aganogawa.jp

発行 2013/7上旬
阿賀漁協組合報

* 第五十四回通常総代会

全議案異議なく承認される

- * サーモンファーミング事業成果まずまず
- * 漁業権更新年度、五単協々議進む
- * 災害復旧工事と河川保護、どう協和…

ロマン
大河を釣る！



<馬下橋下流 11/16撮影>

これで良いのか故郷の川
河川工事に想う…

一昨年の福島新潟豪雨による災害復旧工事が急ピッチで進められている。人間社会優先は、現代に生きる者として理解はできるが、生活の利便を図ることと自然環境への配慮とは裏腹である。

河川工事は「災害復旧・砂利採取・ダム建設」などに分けられるが、いずれの工事も河川環境に負荷を掛けていくことに相違ない。

こういったなか、災害復旧工事は佳境にはいる。復旧工事の主たる目的は、人命と財産の保護である。つまり人間様の都合なのである。最も自然環境への配慮を河川法を改正してまで盛り込んだのは何を目的としたい。

転ばぬ先の杖ではなく、転ばぬ先の知恵

てなのか理解しがたい。あの東日本大震災後、国は災害を防ぐことに躍起であり、その意識過剰には首を傾げる。護ることと備えることをはき違えているようではない。それは、「十mの波には十一mの防波堤を築く」これが最大の防御だと言う考え方だが、これでは防護されることを前提に日々を暮らすことになり、想定を超える災害に対処できず被害は甚大なものになるだろう。

河川を怖いもの、悪いものにしたのでは水辺が泣く。子供たちが河原に集うことでの情操教育や愛郷心の醸成を図り、自然のしさ、優しさを学び、災害に対する予知能力を身に付けることが出来るのだ。

川は怖いもの、悪いものにしてしまう現代の風潮を、負の遺産として後世に贈つてはならない。

（雑論・代表理事組合長）

新年度、主な委員会活動

【管理委員会】

(◎権瓶文吉○加藤時雄／佐久間勇夫／長谷川明／村山賢二)
組合運営にかかるすべての管理と対外的な対応などを行う。
※第五種漁業権更新年度に当り、阿賀野川5単協で、新しい行使規則並びに遊漁規則の協議を行い臨時総会に議案上程など。

【増殖委員会】

(◎芳賀数也○清野廣一／井上 茂／金子正輝／村山賢二)
組合独自の放流計画、行事、その他について計画立案。
1. さけ、ます、あゆ及び一般魚種にわたる増殖計画と放流事業
2. カワウ駆除実施の対策と実施計画
※安野川サケ試験採捕を行い、ここ3年間の濃密放流の成果を確認し、今後の方針を定める。

【環境推進委員会】

(◎松尾 博○渡辺政廣／板垣十代司／藤田正明／村山賢二)
組合に関連する河川工事やその他の工事等が、漁場に与える影響等を検討し、その対策を講ずる。
1. 補償交渉及び諸問題の処理と河川環境維持にかかるもの
※頻繁な災害復旧工事に対する環境調査や工事の監視を行い、指導及び要望などをを行う。（別記詳細文）P-3中段に

【任意設置】

【さけます増殖協議会委員】

サケ・サクラマスに関する操業及び増殖事業等について、5単協で協議を行う。
（権瓶文吉／藤田正明／芳賀数也／松尾 博／渡辺政廣／村山賢二）

【広報委員】

広報「鱗河」の作成と、情報提示に関する事。
（◎芳賀数也／○佐久間勇夫／権瓶文吉／藤田正明／松尾 博／村山賢二）